

2012年5月8日

## JRA 同好会、府中競馬レポート

幹事代行 丸山暢久（4組）

昨年は東日本大震災のために自粛した JRA 同好会を 2 年振りに開催した。いつもホストを買って出してくれる日刊競馬編集長の柏木集保君（4 組）が、今回もダービールーム（府中・東京競馬場最上階 8 階にあるダービー馬の名前を冠した VIP ルーム）に案内してくれた。これまで山辺良樹君（4）が幹事で催行して貰っていたが、山辺君が上田に転居することとなった為に私（丸山）が代行した。同期「港区の会」で毎回世話になっている新橋の居酒屋の“超馬好き”のお姐さんに助太刀要請した処、友人 1 名のおまけ付きで参加。最終的には柏木君を含めて 14 名（同期が 10 名）で漸く戦闘体制が整った。

今年は「オルフェーブル」名の部屋でスタンバイ。用意された「ホテルオークラ」仕立てのバイキング風の食事とビールで気合付けをして 12 時頃から戦闘モード。

柏木予想を参考にしつつ、彼方此方で溜め息と雄叫びが入り混じる。神宮進君（10）は朝一の電話投票で大口を当ててきたので最初から流し気味。宮原豊君（9）は神宮講師に見立てを聞きながら賑々しく。上田から長駆参じた勝負師山辺君は黙々と大量投票。馬をやらない浅倉英樹君（4）はその横でお酒に顔を赤らめつつ、皆のうろたえ振りをニコニコと眺めている。14 時頃、瀧沢政視君（4）が少しく当てて逃げに入る。今回、「五輪の書」を皆に配った高崎の住人、中山正光君（11）は、その心得に反した行動のせいか中々芽が出ず、最後の精算予定額を気にする。同じく 11 組深町美由君は当たり外れが入り混じり、勘定しないと成果が不明との事。何やら昔の仕事みたい。更に 11 組の牧野信明君は……コメント差し控えます。そう言うお前は如何なんだ？と聞かれれば、幹事疲れて良い訳ないでしょ、が通り相場。

当日のメインレース NHK マイルカップ。全員討ち死に、と思ったら中山君が静かに「獲った」と一言。見ると馬連 1 点買い 1 万円の勝負に出ていたのです。10 数万円になり、帰りはタクシーで高崎まで帰る、とは言わなかったですが、流石に「原則」を説いただけあったね。ところで柏木編集長の予想はビックリ！ 1, 2 着を本命対抗にしていたのです。最初から素直に買えば良かったものを皆、天邪鬼。

そして又、中山原則に反して最終レースに勝負を挑んだ深町君。見事に 3 連単と 3 連複の両方を当てました。勝負事は締めて幾ら！ですかね。

メインレースの前辺りから急変した天候は帰る頃には少し納まり、後で知る事になる物凄い竜巻があったことも知らず、言い訳したり、講釈したり、楽しい 1 日でした。

（2012 年 5 月 8 日記）

写真添付

